

硫酸バリウムの排便改善のへ試み

○ 半澤俊和 北川達之 松井志穂 亀山欣之

(公財) 福島県保健衛生協会

【はじめに】

硫酸バリウム飲用に伴う便秘症は、胃透視検査において最も重大な偶発症の一つである。高齢者や日頃の排便に難がある受診者には、錠剤型緩下剤（以下錠剤型）や水分の服用だけでは全てのバリウム便の排便を排泄しきれず、また下剤の服用忘れなどが原因で重度の便秘に陥り、QOLを低下させるなどの事例が報告されている。これら排便改善を図る目的で下剤の剤型と服用方法を変更し、その効果を検討したので報告する。

【方法】

当協会職員218名を対象とした健康診断時に、飲用するバリウムに滴剤型緩下剤（以



